



SFoods News

平成20年2月期

平成19年3月1日～平成20年2月29日



代表取締役社長
村上 真之助

事業の概況についてのご報告

米国で発生したサブプライムローン問題が日本にも飛び火し、当連結会計年度におけるわが国の経済は、非常に不安定な状況が続きました。原油をはじめとする原材料の値上げが末端消費者価格に反映されつつあることも、日本経済の停滞の一因となっております。食肉業界においても、数年来続いている焼肉店などの外食産業の不振に加え、食肉小売も今期に入り低迷しつつあり、厳しい経営環境下での事業活動を強いられております。

このような状況下、当社グループは、食肉の[卸売事業]、[製品事業]、食肉の小売に新たに外食事業を加えた「小売・外食事業」の3つを中核事業として、食肉の原料調達から末端消費者への

食品提供に至るまでの一貫した商品流通事業を展開しております。

食肉の[卸売事業]においては、国産や輸入の牛肉・豚肉を中心に展開いたしております。

国産牛肉に関しましては、新ブランド『WAGYU MASTER』を立ち上げ、国内のみならず米国、香港への和牛の輸出も手がけております。また、地域に密着した営業体制を整えるため、既存営業拠点の機能強化の面から平成19年4月に九州営業所を移転し、同年11月には京都営業所と滋賀営業所を統合して京滋営業所を開業いたしました。これらの営業所はミートセンターを併設したことによって、地域のお客様に対してよりスピーディーできめ細かな営業活動が可能となりました。

[製品事業]においては、前連結会計年度に販売

を再開した「こてっちゃん」の認知度アップのため、関西限定で平成19年4月にTVCMを放映いたしました。本年3月からは関東地方でも販売を再開いたしております。また、おいさと健康をコンセプトに健康・

美容に関心の高い女性のニーズに対応した新ブランド「美健DELI」（コラーゲン、レバー等を使用した調理食品）を立ち上げ、新たな顧客層の開拓に努めました。



「こてっちゃん」

[小売・外食事業]においては、食肉小売業界が全般的に不振の中、川下事業の地盤強化を狙い、グループ会社である株式会社オーエムツーネットワークが、平成19年3月に外食事業の株式会社焼肉の牛太を100%子会社化いたしました。一方、グループ経営の効率を改善すべく、小売事業の子会社ミスタースタミナ株式会社の持株を全て当社から株式会社オーエムツーネットワークに移動し、また不採算の子会社株式会社スターチェーン丸進の持株を全てグループ外に売却いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、1,137億7百万円（前年同期比0.4%減）、営業利益は39億3百万円（前年同期比1.4%減）、経常利益は38億4千7百万円（前年同期比9.1%減）と減益になりましたが、減損損失及び税金費用などが前連結会計年度に比べ減少したことから当期純利益は19億1百万円（前年同期比20.3%増）と増益になりました。



京滋営業所

対処すべき課題

BRICsなどの急激な経済発展により、国際的な食糧需給体制が大きく変動しつつあります。食糧の多くを輸入に依存するわが国にとっても、近い将来、食品の安全性に加えて安定供給の問題が大きな課題になるものと思われます。

従来から国内外の食肉の供給ルートに独自のパイプを持つ当社は、自社の持つ機能を最大限に生かし、今後も**食肉の調達と安定供給を通じ日本の食品の安全保障と安定供給に貢献**してまいります。

当面の課題は、豪州、米国を中心とする食肉の海外原料調達ルートの多様化と安定化を図ること、和牛を主とする国産牛の海外での販売ルートを確立すること、国内市場での地域に密着した営業体制



和牛肉 (WAGYU MASTER)

をより強固なものとし、新製品の開発と販売促進により製品ブランドを強化すること、内部統制体制を確立しコンプライアンス経営をより発展的に進めてゆくことです。

中長期的には、国内においては関係企業との連携を強め食肉を中心とした総合食品企業グループを形成すること、国外においては、国際的な食肉供給販売ネットワークを確立することを目指しております。当社の事業を通じ、日本の畜産の発展と、食肉の安定供給に貢献することが当社の最大の使命と考えております。

以上の事業展開により、企業価値の継続的な増大を実現し、株主の皆様をはじめとする社会全体の要請に応え社会的責任を全うしてまいります。

今後の見通し

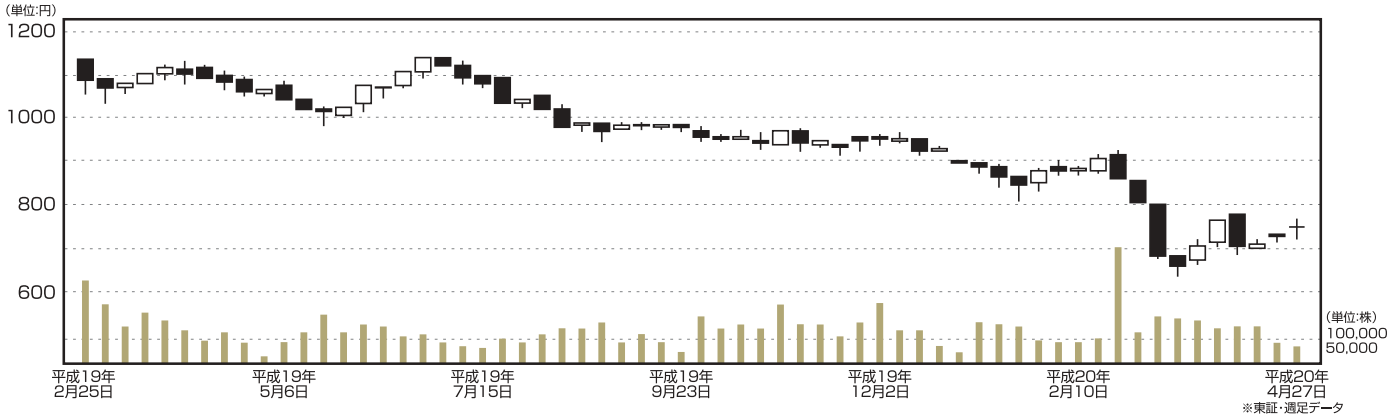
消費者物価の上昇に伴い、景況感の悪化が懸念され、経営環境はより厳しさを増しております。当社グループにおきましては、数年来、**食品事業における垂直統合、未開拓のマーケットセグメントへの積極的アプローチにより地道にシェアの拡大**に取り組んでおります。本年は国内景気の後退が懸念されておりますが、当社グループは上述の事業展開により、緩やかではありますが、業績の伸長を予測いたしております。次期の見通しにつきましては、売上高1,200億円（前年同期比5.5%増）、営業利益43億円（前年同期比10.2%増）、経常利益45億円（前年同期比17.0%増）、当期純利益20億円（前年同期比5.2%増）を見込んでおります。

営業成績と財産状況等の推移（連結）

期 別 区 分	第40期 平成18年2月期	第41期 平成19年2月期	第42期 平成20年2月期	第43期見通し 平成21年2月期
売 上 高	92,676	114,150	113,707	120,000
営 業 利 益	1,896	3,961	3,903	4,300
経 常 利 益	2,447	4,232	3,847	4,500
当期純利益	988	1,581	1,901	2,000
総 資 産	46,551	45,845	50,587	
純 資 産	28,237	32,336	33,820	
1株当たり 年間配当金	16円	16円	20円	22円

単位：百万円（配当金を除く）

●株価の推移と株式の売買高



インフォメーション

新製品 ごあんない

美健DELIシリーズ

中華風牛すじ豆腐炒めの具…肌や関節に必要なたんぱく質「コラーゲン」をたっぷり含んだ「牛すじ」。家庭では調理が難しい素材を簡単においしくいただけます。



牛すじ豆腐炒めの具



(調理例)

焼肉王たれシリーズ

鉄板焼鍋のたれ…大阪名物「ちりとり鍋」をご家庭で簡単に楽しめます。お肉と一緒に野菜もたっぷりとることができるヘルシメニューです。



焼肉鍋のたれ



鉄板焼鍋(調理例)

株主ご優待のお知らせ

株主の皆さまへの感謝の気持ちを込め、保有株式数に応じて2タイプのご優待セットをご用意しました。エスフーズならではの深い味わいをご賞味ください。

対象: 毎年2月末日現在の株主名簿及び実質株主名簿に記載された1単元(500株)以上保有の株主さま

贈呈時期: 11月(予定)

ご優待内容: **500~1,999株保有の株主さま**
「3,000円相当の自社製品(ローストビーフ等)」
2,000株以上保有の株主さま
「10,000円相当の国産牛肉(和牛)」

国産牛肉(和牛)



当社が自信をもって厳選した国産牛肉の逸品を、株主さまのご指定カット(しゃぶしゃぶ、ステーキ、焼肉)にてお届けいたします。

ローストビーフ



豪州牛のなかでも美味しさと人気の「Naruo牧場」ブランドのもも肉を、肉の旨みをとがさないブロックのまま焼き上げる当社のごこだわり製法で調理しお届けいたします。

※写真はイメージです。料理写真の野菜、什器等はご優待セットには含まれていません。

会社概要

社名	エスフーズ株式会社 SFoods Inc. (コード番号 2292東証・大証1部)
設立	昭和42年5月22日
代表者	代表取締役社長 村上真之助
資本金	42億9,835万円
事業内容 (グループ)	食肉の卸売事業、製品事業、小売・外食事業

株式メモ

■ 定時株主総会	毎年5月
■ 基準日	定時株主総会 2月末日 剰余金の配当 期末 2月末日 中間 8月31日
■ 公告の方法	電子公告 ※電子公告は下記の当社ホームページに掲載いたします。なお、やむを得ない場合は日本経済新聞に掲載します。 (http://www.sfoods.co.jp/investor/koukoku.html)

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

同事務取扱場所(お問い合わせ先)
〒530-0004 大阪市北区堂島浜一丁目1番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777 (通話料無料)

同 取 次 場 所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店

● 株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。

電話(通話料無料) 0120-244-479 (本店証券代行部)

0120-684-479 (大阪証券代行部)

インターネットホームページ <http://www.tr.mufig.jp/daikou/>

■ 単元株式数 500株



エスフーズ株式会社 〒663-8142 兵庫県西宮市鳴尾浜1丁目22番13 TEL.0798-43-1065 (代表)
<http://www.sfoods.co.jp/>



この冊子は、100%再生紙を使用し、印刷には大豆油インキを使用しています。